

平成20年10月1日

=地域と保護者の皆様へ=

横浜市立富士見中学校  
校長 下川 秀樹

平成20年度 10月号

# 富士見中 学校だより



今回は、初めて本校の体育祭を経験した田原副校長に書いていただきました。

9月27日（土）、心配された天気もまるで予定されていたかのように雨雲が遠ざかり、横浜市立富士見中学校第47回体育祭が行われました。

今年は体育館の改修工事等でグラウンドが使用できず、南吉田小学校をお借りしての開催となり、準備段階から手探りの状態が続きましたが、生徒たちはその不安をもろともせず、3年生を中心に実にさわやかで立派な体育祭を創り上げてくれました。



私も今までにいろいろな体育祭を経験してきましたが、富士見中の体育祭には他の学校にない大きな二つの特色があります。

そのひとつは、約4ヶ月の準備期間を経て3年生が応援演技を創り上げ、それを1・2年生に指導し、体育祭当日に全員で発表するというものです。

体育祭を成功させるためには、当然のごとく最上級生である3年生がひとつにまとまり、協力してひとつの応援演技を創り上げていかなければなりません。

しかし、そこに至るまでには、たくさんの意見の食い違いやトラブルがあり、時には空中分解しそうになりながらも、やっとの思いでひとつの演技を完成させていくという過程があります。



学級で何度となく話し合いを繰り返し、その都度、問題をクリアしながら体育祭当日を迎えた生徒たちの顔は、充実感にあふれ、まぶしく輝いて見えました。

3年生はこのような経験を経てリーダーとして大きく成長し、また、1・2年生は3年生の姿を見て自分たちの役割を知り、富士見中の伝統を受け継いでいくのです。

閉会式の3年生のさわやかな笑顔を見たとき、今年も体育祭への取り組みを通して、さまざまなドラマが繰り広げられ、一人ひとりが大きな誇りを自分のものにすることができたのだと確信しました。

二つめの特色は、毎年、準備から運営に地域の青少年指導員、体育指導員の皆さんが参加してくださることです。

今年は石川小パパの会のお父さん方にも参加していただき、約30名ほどの地域の方々が、警備係にタイマーに、そしてスターターにと協力してくださいました。

また、早朝からの会場準備や終了後の後片付けに至るまでお手伝いいただき、おかげさまで生徒たちはすばらしい思い出を残すことができました。

ご協力くださった皆様方に心より御礼申し上げます。



また、冒頭述べましたが、今年は工事の関係で中学校のグラウンドが使用できないため、南吉田小学校のご厚意でグラウンドをお借りし、学年練習、全体練習も含め、体育祭を実施することができました。

今年度より、南吉田小学校とは小中一貫教育推進校としての連携を本格的に始めたところですが、中学生が取り組む体育祭の練習を小学生が見学する機会を作ってくださいなど、さまざまな面で便宜を図っていただきました。

南吉田小の校長先生始め、教職員の方々、保護者の皆様顺心より御礼申し上げます。



体育祭ひとつをとってもわかるように、富士見中学校はたくさんの方々に支えられながら日々の教育活動を推進しています。

そして生徒たちは、学校創立以来、脈々と流れる良き伝統を今も受け継ぎながら、着実に成長しています。

われわれ大人の責任として、これからも、学校・家庭・地域が三位一体となり、生徒たちの成長に精一杯の支援を惜しまず、日々がんばっていかねばならないと改めて感じた、さわやかな秋の一日でした。

### 10・11月の主な行事

|         |          |            |             |
|---------|----------|------------|-------------|
| 10 / 10 | 前期終業式    | 11 / 3     | 文化祭         |
| 10 / 14 | 後期始業式    |            | 教育文化センターホール |
| 10 / 17 | 児童・生徒交流日 | 11 / 16    | 鎌倉散歩        |
| 10 / 28 | 一日公開授業   | 11 / 20・21 | 中間テスト       |